

羅 金 十 盤

札幌市立前田中学校
進路だより
令和6年11月12日
第34号

道立高等学校・市立高等学校を受験する生徒・保護者へ
～特別な配慮を必要とする障がいのある生徒の出願について～

昨日の保護者説明会でお知らせしました公立高校の入学選抜における学力検査や入学後の学校生活において、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合、配付したプリントの「◎出願前に行うこと(流れ)」に沿って、事前に中学校と高校で相談し、生徒・保護者・中学校及び高校の関係者が直接話し合っただけで、希望の内容を確認したり、シミュレーションを実施したりした上で、高校に特別な配慮を認めてもらう必要があります。

事前にこの相談がすんで、高校に特別な配慮を認められた生徒のみ、入学願書の「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」欄の「有」を○で囲むことができます。特別な配慮を希望したくても、事前にこの相談がすんでいなければ、入学願書の「無」を○で囲まなければなりません。

すでに中学校で特別な配慮を実施している場合でもあらためて、この用紙の「① 生徒・保護者から中学校への相談」にもとづいて、「② 中学校から高校への相談」を行います。

また、私立高等学校にも、入学試験や学校生活において、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合、事前の相談が必要です。

道立高等学校を受験する生徒・保護者の皆さんへ
～特別な配慮を必要とする生徒の出願について～
北海道教育委員会

入学者選抜における学力検査や入学後の学校生活等について、生徒や保護者が特別な配慮を希望する場合の対応や流れなどは、次のようになっています。

① 出願前に行うこと(流れ)

- ① 生徒・保護者から中学校へ相談
在籍している中学校の先生に学力検査や面接、入学後の学校生活について必要とする特別な配慮について相談します。
- ② 中学校から高等学校へ相談
中学校は、生徒・保護者から相談のあった特別な配慮の内容や中学校で配慮している事項をまとめ、生徒が出願しようとしている高等学校に相談し、簡状文書を送付します。
- ③ シミュレーション等の実施
特別な配慮の内容や実施方法が適切であり、実施に当たって支障等が生じないよう、高等学校と中学校が確認し合います。質問が一般に合し、要望の内容について確認したり、シミュレーションを実施したりします。
- ④ 高等学校と進路課(学力向上推進課)との協議
高等学校と学力向上推進課が特別な配慮について協議し、内容や実施方法等を決定します。
- ⑤ 高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ回答
高等学校から中学校へ、中学校から保護者へ特別な配慮の内容について伝えます。

※ 出願の際、入学願書の「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」欄の「有」を○で囲むてください。

④ 学力検査等においてこれまで実施した特別な配慮の例

受検者の状況等	特別な配慮の内容
聴覚に障がいのある場合	・聴覚者の指示や言語の聞き取りテストが聞き取りやすいように音の調整 ・補聴器の使用 など
視覚に障がいのある場合	・拡大用の倍読機 ・印刷物の拡大 など
肢体不自由の場合	・靴いでの使用 など

難読用の場合	・窓外での検査 ・読解時のインストラクションの注釈 など
入院している場合	・入院先の病院での受験 など
日本語指導が必要な場合	・困難用紙等へのルビ記入 など
その他	・通算の受検等で受験することが困難な受験者に対する配慮 ・当該生徒及び保護者の要望により特別な配慮が必要と認められるもの など

◎ 特別な配慮に関するQ&A

Q1 特別な配慮を要する場合はどのように相談しますか?
A1 大学の選抜は、本施設で実施された選抜(個人面接、学力検査の成績、面接の結果等)を総合的に評価して行いますので、特別な配慮が合否に影響を与えたりしません。

Q2 特別な配慮について、いつまでに中学校へ相談しなければいけませんか?
A2 出願しようとする高等学校の案内でも、道立高等学校へ出願しようとする場合は、空きを限り取り締まらせてください。可能な限り出願の受付に遅れをきたさずに行ってください。

Q3 出願後に状況等により特別な配慮が必要となった場合、特別な配慮を申し出てもいいのでしょうか?
A3 出願後により通常の受検が困難になった場合、速やかに中学校に相談してください。選抜中や選抜後の出願の際の高等学校に連絡をとり、当該高等学校長は、学校教務長(学力向上推進課長)と特別な配慮について協議します。

◎ 相談窓口

○ 次のいずれかに相談してください。

- ・出願先の高等学校
- ・北海道教育庁学校教育課学力向上推進課学力向上改善係
電話 011-204-4711(平日9時～17時)
- ・学校教育支援課教務課指導課進路及び高等学校課教育指導係
http://www.educn.ed.jp/kyokugaku/kyokugaku/index.html
- ・北海道で特別支援教育センター
http://www.tokuten.hokkaido.go.jp

◎ 参考

○ 札幌市立高等学校については、次のところへお問い合わせください。
札幌市教育委員会学校教育課教務課進路指導係
〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西2丁目5F北2条ビル3階
電話 011-221-3891
http://www.city.sapporo.jp/kyokugaku/

○ 札幌市以外の市町村立高等学校については、各市町村教育委員会へお問い合わせください。

○ なお、札幌市、旭川市、帯広市、苫小牧市、釧路市、旭川市、帯広市、苫小牧市、三好市、大空市及び道庁所在地の市町村立高等学校の入学者選抜については、原則として「道立高等学校入学者選抜実施要項」に基づいて実施されます。

切り取り線
「入学者選抜における特別な配慮の希望の有無」の確認

3年 組 番

生徒署名

保護者署名

11月20日(水)までに学級担任へ提出してください。 *全員提出です。
あてはまる方の()に○をご記入ください。

- () 特別な配慮を希望しない
- () 特別な配慮を希望する

希望する特別な配慮

進路説明会を終えて

進路説明会に多くの保護者の方にご参加いただき、ありがとうございました。時間内で、予定していた内容の説明をすることはできましたが、不明な点があればご連絡ください。

11月～12月に、生徒向けに進路学活を3回に分けて行う予定です。公立高校の説明が中心になると思いますが、進路決定や願書、面接など当面の進路関係について一人でも多くの生徒に理解してもらえるように説明していきたいと考えています。

高等学校の学校説明会の開催は、11月までとなります。12月に相談会を開催する学校もありますが、数は多くはありません。

まだ、興味があり、一度も説明会に参加していない、また、志望校に迷っている場合は参加してください。



学校説明会などの案内

札幌静修高等学校

- | | |
|--------|--|
| ○学校説明会 | 全員に案内プリント配付 |
| 日時 | 令和6年11月23日(土) 10:00～(受付9:30) |
| 場所 | 札幌静修高等学校 中央区南16条西6丁目2-1 |
| 内容 | 全体説明(学校概要、科、コース説明)
個別相談(学校生活、学費、進路、入学相談)
通信制課程(個別相談受付) |
| 対象 | 生徒 保護者 |
| 持物 | 上靴 靴袋 筆記用具 |
| 申込 | 参加希望者は、配付されたプリントで確認し、各自申し込んでください。 |

「1年間の記録」の記入について

本日「1年間の記録」(プロフィール)を記入する用紙を配付します。これは、高校へ提出しなければならない個人調査書を作成するときの参考資料となるものです。この1年間の中学校生活を振り返りながら、自分がどんな経験や体験をして、どのような成果を残すことができたかを確認するものです。できるだけ正確に書いてください。通知表や資格認定書、賞状などを事前に探し、準備してください。

注意点ですが、

- ☆「生徒会役員、委員、局員」「学級の係」は、正確に書いてください。
- ☆「生徒会、委員会」は、成果を上げた内容があれば書いてください。
- ☆「部活動名」は、3年間続けられた場合は記入します。途中で辞めた場合は記入しません。「校外クラブ名」も同様です。
- ☆「部活動、クラブなどでの実績…」は、団体チーム競技は、自分もメンバー入りしていたかを基準に書いてください。複数ある場合は、最高の成績か、最新の成績を書いてください。また、どのように取組んだか具体的に記入してください。
(例) バレーボール部に所属し、部長としてチームをまとめ、中体連全道大会に出場した。
- ☆「各種学校行事での実績」は、よく思い出して正確に書いてください。
- ☆「趣味、特技」は、必ずどちらも書いてください。
- ☆「資格、ボランティア」正確に書いてください(取得している資格、所属している団体名など)。高校によっては、資格を証明するものをコピーして、提出することもあります。
(例) 英語の授業に積極的に取り組み、英語検定準2級を取得した。
- ☆「将来の進路について」は、現在の希望を書いてください。

締切は、12月9日(金)です。遅れずに提出してください。